

リズムニュース

米沢市立病院

循環器科

第16号2012年5月

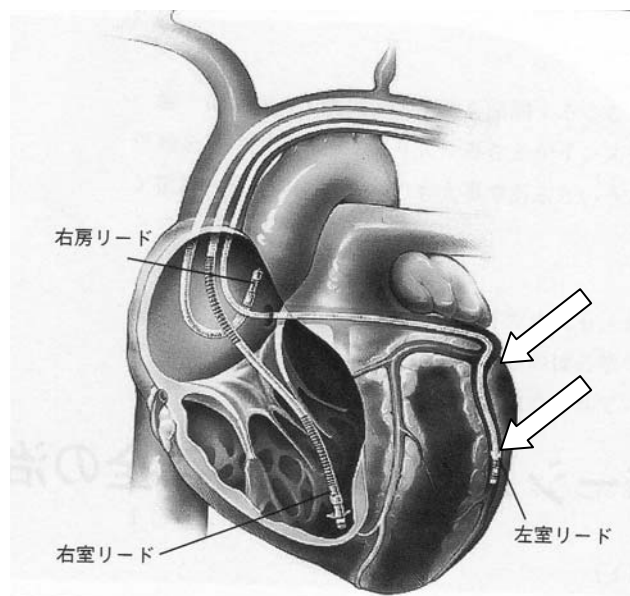
心機能を改善させるペースメーカー

ペースメーカーは本来、脈を作るものなのですが、心機能を改善させるペースメーカーが2004年から使用できるようになりました。これは心臓の動きが高度に低下している方、心不全で何度も入退院を繰り返している方でいくつかの適応基準に当てはまる場合に植え込まれます。最近この適応基準に「通常のペースメーカーを植え込んでいる方で自分の脈がほとんど出ておらず、心臓の収縮力が高度に低下している場合」が追加となりました。

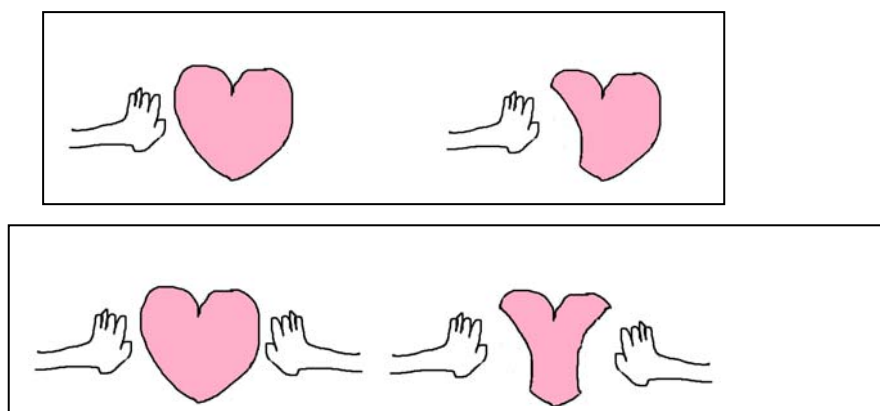
① どんなペースメーカー？

ペースメーカーの形はほとんど同じですが、心臓に入れるリードが一本多くなります。このリードは心臓の表面を走る静脈の中をとって左心室を刺激します。

通常使用する右心室のリードと同時に心臓を刺激することによって、心臓をいっぺんに動かすことができ、心臓の収縮力を上げることができます



つまり 心臓を片手でおして動かすより両側から両手で押したほうが効率が良いというようなイメージでしょう。



よく、ペースメーカーの出力(刺激する力)を強くすると収縮力も強くなるとわれている方がいらっしゃいますが、そのようなことはありません。出力は強くても弱くても心臓の収縮力は同じです。

② 今のペースメーカーじゃだめなの？

ペースメーカーは脈の数を増やしてくれますが厳密な意味で正常の人と同じ心臓の動きを作っているわけではありません。ほとんどの方はそれでも心不全を起こすことなく生活できており今のペースメーカーで問題はありませんが、もともと心臓の筋肉が弱い人などではペースメーカーを入れることでかえって息切れなどの心不全をきたすことがあります。

何度も繰り返し入院したことのある方は、次回の電池交換の時にこのペースメーカーにバージョンアップすることを考慮したほうがいいかもしれません。

③ うちの病院でできるの？

この手術は今あるリードの他にもう一本のリードを入れる必要があります。残念ながら今は当院でこの手術を行うことはできません。現在この手術を行うための施設基準を取得するために循環器内科と循環器外科ががんばっており数年でできるようになると思います。その間どうしてもこのペースメーカーが必要な方は山形大学や福島県立医科大学に紹介して手術してもらいます。

米沢市立病院のホームページでいままでのリズムニュースを読むことができます。ぜひアクセスしてみてくださいね。